生活協同組合 COOP あいコープみやぎ 機関紙「あいあいあい」 No.228

あい あい あい

I eye 愛

2025年 3月号

1/22 総代懇談会（日立システムズホール仙台にて）

“分断”が叫ばれる時代 今こそ人と人との対話を

理事 石井 朱里

「私たちは協同の力で、人・食・環境を大切にする持続可能な社会をつくります」――1979年の創立以来、あいコープみやぎが掲げ続けてきた基本理念です。

当時1000名ほどだった組合員は今や16000名を超えるまでになり、専業主婦の減少や高齢化など、生活スタイルやニーズも多様化してきました。グローバルな気候変動や戦争が私たちの暮らしにも直接影響を与え、生産環境は厳しさを増し、「お米が買えない」という事態にも直面しています。そんな中で様々な課題をどう乗り越え、どんな未来を描くのか。「協同の力」が今まさに試されていると感じます。

協同の基本に「みんなで決める」ということがあります。では、全員に情報を発信し、アンケートで多数決を取ればそれで良いでしょうか。これほど食品が値上がりし、もう無農薬や無添加なんて言っていられない、少し基準を緩めても価格を下げてほしい、というニーズ、あるいは逆に、もっと高くても買うから無農薬・無添加を推進するべきだ、というニーズの両方が存在し、あなたがどちらの立場であっても、いきなり多数決で決めてほしくはないと思うはずです。そこには対話の場が必要です。生産者や事業サイドの事情、どちらかを選んだ場合の影響を知ることも大事でしょう。そうした課題を出し合い、顔を合わせて話し合う場としてここ数年取り組んでいるのが総代懇談会です。

“総代”とは、毎年6月の総代会に参加し、その年度の事業と活動の計画を議論し承認する組合員の代表です。その総代の皆さんを対象に、懇親と話し合いの場として総代懇談会を年2回ほど開催しています。「こうだったらいいのにな」「こういうアイデアはどうだろう」という思いを持つ方にとって有意義な会となるよう、毎回工夫を凝らしています。総代人数もコロナ禍以前の水準に戻すべく、25年度は160名の定数としました。少しでも関心のある方は3／14までに組合員事務局へお問い合わせください。

◎総代立候補届の請求はこちらからもできます↓

立候補

CONTENTS

▶「私は憎まない」上映会開催 …2
▶組合員交流会開催中 …3
▶灯りっこはともったか講演会報告 …4-5
▶しおさい地区フォーラム報告 …6
▶わ・は・わ広瀬見学会 …7
▶今日はコレ！わたしのおすすめ …8

復讐ではなく 和解への架け橋を

「私は憎まない」上映会に１５０名

2月1日、せんだいメディアテークを会場に「私は憎まない」上映会を開催しました。この映画は、パレスチナ人ながら、イスラエルで働く初めての医師となった、イゼルディン・アブラエーシュ博士の生き様を映したドキュメンタリーです。

ガザ北部ジャバリア難民キャンプでの貧しい暮らしの中、ここから脱するには教育だ、と家族のために働きながら苦学の末医師になった博士。自宅にイスラエル軍から攻撃を受け、3人の愛娘を失うという悲劇にあったにもかかわらず、「憎しみは憎しみでは解決しない」と共存を訴え続けています。博士の平和を求める強烈で切実な思いがひしひしと伝わってきました。

午前の部・午後の部と
約 150 名が鑑賞に訪れました

第二次世界大戦から復興した日本人にはパレスチナの未来を想像する力があると語るアブラエーシュ博士

1日2回の上映に約150名が参加。あいコープで一昨年そして昨年と継続して開催している、パレスチナのオリーブオイル生産者を招いての学習会から関心を持ったという方も多くおられました。映画本編の後に続けて、昨年10月に博士が来日された時のトーク動画も上映し、博士からの熱いメッセージを涙ながらに鑑賞された方も多かったようです。

ガザの出来事は決して私達に関係の無いことではなく、人権を揺るがす、世界中の人にとっての脅威。日本の地でできることを、一人一人が考え行動を起こそうと思えた時間となりました。

理事　櫻井 洋子

あいコープ&あいコープ農法研究会 主催

地場生産者研修会2025

1月30日、太白区秋保町の会場に県内外から約50名の農産生産者と生協関係者が集い、「あいコープ地場生産者研修会」が行われました。BMW技術を活用し地域の未利用資源をたい肥化する取組みを始めて2年目。七郷クローバーズファームの堆肥舎をお借りしてみんなで作った【種たい肥】を各産地でシェアし、各々がオリジナル堆肥作りに取り組んだ今年の様子を、プロジェクトの座長・西塚忠樹さんはじめ各産地から伺いました。

その後は、あいコープと共に20年以上にもわたり有機栽培に取り組んで来た大郷みどり会代表の西塚忠元さんと、あいコープみやぎ前理事長の小野瀬裕義さんからの基調講演、そしてこの二人のレジェンドとBMW技術協会が若手生産者の質問や疑問に答えるなど、充実した会となりました。

あいコープみやぎ商品部の高橋翔課長による報告の中では『心と心の会話をしながら互いに育ちあっていきたい』との言葉もありました。私たちに届く野菜や米を収穫するまでには、作業だけではなく、より良いものを生産していこうとこのように皆で集って情報交換や研修をしていることを多くの組合員に伝え、利用するだけではなく生産者の努力に寄り添い、よき理解者でありたいと思いました。春からまた忙しい時期がスタートします。変わらず応援し続けていこうと思います。

理事　太田代 一世

（左から）吉武常務・西塚忠元さん・
小野瀬裕義前理事長

組合員と生産者の交流について
報告する太田代理事

関係者約 50 人が一堂に会した

続々開催中！

組合員交流会

2／5 “趙さんの味“李さんに教わる本格キムチ〈泉B地区〉

各地区で開催される組合員交流会、トップバッターは泉B地区。「趙さんの味」でおなじみの李香星（イーヒャンソン）さんを講師にお招きし、組合員・ゲスト・地区委員合計26名でキムチ作りに挑戦しました。

キムチに使われるタレ「薬念醤（ヤンニョンジャン）」とは、薬のように身体にいい食べ物で、食べ続けることで健康になって欲しいと願って作るもの。韓国でのキムチの食べ方・使い方から、添加物のことまで、優しくほのぼのとした語り口で、でも時折ピリッと胸に残ることを伝えてくれる李さん。みんな真剣にメモを取りながら聞いています。お話しながら次々材料を混ぜて、できた薬念醤を「食べたい人！」と手に載せて味見させてくれました。盛り上がってきたところで、いよいよテーブルに分かれて作業開始です。

作業自体は塩漬け白菜に薬念醤を塗り込んでいくだけなので、あっというまに完成！袋詰めした「お土産キムチ」はお家で乳酸発酵が進むまで寝かせていただき、この場では「キムチ鍋」と「趙さんの味」のキムチ食べ比べ試食タイムです♫「チャンジャ、大好きなの！」「ごはんまで出していただけるなんて」と喜びの声に、キムチ鍋を用意した委員さんも、李さんも嬉しそう。あいコープでは毎年大人気の「キムチ企画」ですが、今回もたくさんの笑顔が生まれました。

理事　辻　朗子

キムチに使用するたくさんの素材が集まりました！

仕上げの作業まで丁寧に教えてくれた李さん（左）

2／13 ワタシの推し！趙さんのたれ活〈泉A地区〉

泉A地区でも「趙さんの味」の李さんをお招きし、PB「焼き肉のたれ」の学習発表を兼ねた交流会を行いました。

みんなで一緒に調理体験は、肉じゃが風の煮物。豚肉の代わりに米沢郷の鶏肉を使い、お好みのサイズに切った野菜と一緒に炒め、煮込み、味付けは「焼き肉のたれ」だけ！味のバランスが完成した万能調味料であるこの「焼き肉のたれ」を使えば、調味料をあれこれ用意することなく、お好みの濃さまで入れるだけ。炊き込みご飯も細かく刻んだボロニアソーセージとマッシュルーム、ミックスベジタブルを入れて「たれ」を入れて炊くだけ。サラダに使ったドレッシングも「たれ」に胡麻油と酢を混ぜたもの。味のバランスはそれぞれのお好みです。

完成した料理を食べながら、学習発表として「李さんとのトークショー」を聞いてもらいました。開発の歴史、味の決め手になっている「鎌田さんの醤油」のこと、添加物のこと。この一本に詰まっている物語、短時間では語り切れないのですが、二人で掛け合いながらお伝えしました。参加の方からは「そんなこと知らなかった」「知らないと怖いね」の声が。「美味しい」だけで終わらせない、深い学びと気づきにつながる時間が組合員交流会の醍醐味です。

理事　辻　朗子

泉A地区名物、委員さん手作りのPOPでお出迎え♪

李さん（右奥）も調理に加わり、参加者と交流しました

東日本大震災から14年 高橋英雄社長のおはなし会
考え 行動し 変わっていこう

「心を閉ざし笑顔を見せることがなかったあの子が初めて笑ったんだよ。ほら、心に≪灯りっこ≫がともったべ？」

2011年の大震災で石巻市にあった工場が壊滅的な被害を受け、一時は再建を諦めかけたという㈱髙橋徳治商店の髙橋英雄社長は、自らが感じる社会への違和感を今も言葉にし続けています。信念を持ち作り続ける無添加の練り物工場を東松島に再建したのちも、「この地で必要とされる会社でありたい、この地で光になる」と、多額の借金を背負いながら野菜果物加工という新たな事業を興し、社会に順応できず苦しむ若者の就労の場を作りました。挨拶もお礼もうまくできない孤立した若者が、仕事仲間との関わりの中で変化し笑顔を見せることが周囲の人にどんな影響を与えるか。小さな灯がこころにポッとともる、その連鎖を見てきた英雄社長。

震災を経て見えてきた社会の課題を、世に問いかけ続ける英雄社長のおはなし会を「灯りっこはともったかと題して開催し、日立システムズホールに35名が集いました。

『災害ユートピア』は消滅し 悪い課題だけが残ったのでは

震災時、大津波を逃れ、避難所となった神社の大広間で身を寄せ合う被災者の「世話役」となった英雄社長は「災害ユートピア」を目の当たりにしたと言います。助け合い言葉をかけ合い、他者を思いやる心があったと。しかし裏腹に、仕事を失い自棄になる大人やそんな大人を気遣い「いい子でいなくては」と我慢を重ねる子ども達、賠償金の有無で分断される人々の姿もまた災害下にはありました。復旧が進むと共にユートピアは消滅し、今は「悪い課題」だけが残ったのではないかと英雄社長は問いかけます。

おはなし会では、石巻の工場の被害状況を写真で解説しながら「思い出すのが辛い人もいるでしょうけれど…」と２０１１年当時の話をされました。全国から生協関係を含む延べ１５００人のボランティアが工場の復旧に汗を流してくれたこと、津波で亡くなったという母と幼子の胸が苦しくなるようなエピソードなど、時折言葉に詰まり一つ一つ言葉を選びながらゆっくりと話すその姿に、会場の参加者は静かに聞き入っていました。

震災が我々にもたらしたものは、人命や建物の被害だけではなく、心の傷や、個人の孤立、物理的・心理的なコミュニティの分断など、大きさや重さを測れないものも多く、それは実は震災前から顕在していた課題だったのかもしれません。それに気づかないのか。気づいているならなぜ見ないふりをするのか。違和感を感じ取り、生活協同組合の「仲間の力」で変えていく、そして一人一人が変わっていかなくてはならないのだと、英雄社長のお話は『生協はどんな組織か、何を目指すのか』へと進んでいきます。

会場となった日立システムズホールで
お話を聞く参加者

全国を飛び回り精力的に
活動する髙橋英雄社長

「そんなことまで気にかけてくれる」心通い合う生協になろう

『弱者』とは障がい者や高齢者だけではなく、誰もが該当するもの。例えばお金があっても幸せとは言えず、それぞれが抱える生きづらさや悲しさに、その人の視点で寄り添い『一緒に考え行動する』ことも生協の仲間としてできることなのかもしれません。「仲間として私のことを気にかけてくれている」と信頼される生協になろう！という、英雄社長からのメッセージを受け取りました。

多様な人々が同じ商品を利用することで仲間になるあいコープ。ネットスーパーとの違いのひとつは、地域の繋がり、生身の人間の繋がりがあること。大震災を経験した被災地の生協として「自分も辛いのに(辛いからこそ)他人の痛みを理解した」あの日を忘れず、商品の開発や選定一つにしても世の中の平和や社会貢献に繋がるかを考えながら進むべきというお話に、職員も組合員も襟を正しました。

被災した石巻工場について
被害状況を説明する英雄社長

メッセージのこもった商品の象徴 ≪おとうふ揚げ≫をみんなで

会の終わりに、震災時復旧した工場で初めて作ったという逸話を持つ、高橋徳治商店のおとうふ揚げを一人一個いただきました。「何度も注文してきたが今日の一個ほど噛みしめた一個はなかった」とは参加者の弁。これが、商品を通して生産者の想いが伝わるということなのだと感じることができました。あいコープはそれを組合員に届け続けます。

おとうふ揚げ

●おはなし会を終えて●

「課題を解決する魔法の杖はない」と社長は言いました。誰かが道を指し示してくれる訳ではなく、私たち自身が疑問や違和感に対し思考を止めず、そしてアクションを起こすことが必要。もちろんあいコープには、弱い立場の人々に寄り添い、社会を変えようと既に始めていることもたくさんあります。今後も弛まず進むことを決意し、もっと現場を知り、新たな取り組みのアイディアを行動に移す生協に育っていきたいと思いました。

（文責・理事　鈴木真奈美）

参加者の皆さん、そして英雄社長
ありがとうございました

おはなし会終了後、参加した
理事と職員で社長を囲む

1/23　省エネで節約にもなる！「鍋布団を作ろう」

脱原発エネルギーシフト委員会での恒例企画、鍋布団を作ろう。鍋布団は、沸騰した鍋を布団で包み放っておけば余熱で調理が出来るという優れものです。委員さんの「自然と原発に頼らない暮らしをしていたね！と言えるようにこの鍋布団を広めています」「そして光熱費5,000円は安くなります」との話に歓声が上がりスタートしました。お裁縫が得意ではないという方も、隣の席の方と励まし合いながらチクチクと縫い進める姿はとても楽しそうでした。

毎日の暮らしの中での省エネが、原発等に頼らない世の中に繋がっていく事を願いながら、また開催したいと思いました。

理事　萩原　晃世

無心に針を進める
20名の参加者たち

1/30 学習会　「破綻必至の日本の原子力政策と核燃サイクル」

あいコープは「六ヶ所再処理工場に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク（通称：阻止ネット）」の一員です。４月の反核燃の日を前に毎年行う事前学習会が阻止ネット主催で行われ、東京の生活クラブ連合会の会場に22名、オンラインで224名が参加しました。講師の松久保肇氏から、巨額の安全対策費を投じる原発再稼働で電気料金の値下げ効果など出ていない事、更に近年の原発建設コストを考えると原発回帰などあり得ないことが資料をもとに示されました。

女川原発の再稼働や使用済み核燃料の乾式貯蔵施設建設計画などに抗うため、有機を増やすために有機野菜を選ぶように、再エネの電気を選び購入することも、消費者にできることだとお話がありました。

理事　鈴木　真奈美

講師の松久保肇さん
（原子力資料情報室）

わだいの
たねまき

スモークサーモンで春色の押し寿司と養生食

1月23日しおさい地区フォーラム

今年度しおさい地区の担当PBは「スモークサーモン」。タンポポ村の牛渡正典社長をお招きし、商品学習会をしました。

原料はロシア産の天然紅鮭。身を三枚におろして塩を刷り込み、サクラチップで香りづけをしながら低温でじっくりスモークします。燻製後は一晩冷却し旨味を閉じ込め急速冷凍。その後、注文に応じスライスします。生産者さんから直接お話を聞くのは大変貴重で、参加者の学びもより深まると感じます。

牛乳パックで押し寿司に挑戦

学習をしたことを発表する
地区委員さん(右)と牛渡社長(左)

天然紅鮭の鮮やかな色！
（お見せできず残念）

工場で使われる
燻製用のサクラチップ

学習後は「スモークサーモンの押し寿司」の調理をしました。押し寿司の型は使用済みの牛乳パック！お隣の方と協力してスモークサーモン、酢飯、薄切りのアボカドを順に重ねて切り分けました。

その他、はんぺんのお吸い物、冬野菜の塩麹和え、柚子寒天も添え彩も楽しめたランチでした。薬膳に詳しい組合員さんが講師となり、鮭の効能(胃腸を温め消化機能を高める、気を補い血の巡りを良くする等)をお話いただき、知識が広がりました。

お祝いの春、家族で賑やかにスモークサーモン料理を囲むのが楽しみです。

しおさい地区担当理事
藤田　紀子

商品を学んで、作って、食べて…
地区委員会って楽しいね

月刊PB（プライベートブランド）3月号

新PBの「平こんにゃく」「糸こんにゃく」も、2月4回無事まんま通信に登場しました。現在あいコープでは産直肉の加工品として新たに「ロールキャベツ」の開発を担当する地区を募っている状況です。産直肉、そして産直キャベツを利用する新たなきっかけとなるか！乞うご期待です♪

一方で、物価高騰、エネルギー高騰により、共同購入することで価格を抑えている商品にも値上げを避けられない事態が起きています。組合員に絶大な人気の「あいコープの納豆」。毎日の食卓に上がるものだからこそ、家計にやさしくありたい…この社会情勢による値上げを少しでも抑えるには？と生協も生産者も知恵を出し協議し、これまで手作業で選別していた原料の北海道産大豆を、無選別にしたらどうなるか、理事会や商品部で試食を行っています。大豆の小さな欠けや皮むけを受け入れ、値上げを最小限に抑えるか？組合員と生産者双方の暮らしを守るため、あいコープも頑張っています。結論はまた後日！

理事　鈴木 真奈美

生産者のわたり納豆で
作られた2種類の試作品
食べた印象は･･･遜色ない
（個人の感想です^^）

理事会議事録抄

2025年2月4日（火）

▼経営リスク保険契約を承認した▼茨城便車両リース契約を承認した▼第2回総代懇談会の振り返りを行った▼5類感染症罹患時の組合員活動への参加方針を確認した▼組合員活動におけるオープンチャット使用ルールを承認した▼理事会における八ラスメント規程を承認した▼2025年度選挙区ごとの総代定数を承認した▼2025年度農産活動案を承認した▼2025年度産地応援し隊活動案を承認した▼次期中期ビジョン検討委員会活動案を承認した。

組織概要
（2025年1月分）

【組合員数】	17,489名
【供給高】	238,713千円
【一人実利用高】	5,197/週
【出資金】	1,372,930千円

ちょっとひとこと

●学習会～調理～食事と盛り沢山の内容を企画していただきありがとうございました。しおさい地区ニュースをいつも拝見し「いつか参加したい！」と思っていた願いが叶えられました。（しおさい地区フォーラム参加者感想）

誰もが安心して暮らせる社会を

「わ・は・わってな～んだ？」

社会福祉法人みんなの輪　見学会開催

あいコープの生産者の一つである「わ・は・わ」を運営している『社会福祉法人みんなの輪』の事をよく知ってもらおうと、見学会を開催しました。会場は青葉区にある「わ・は・わ広瀬」。老朽化に伴い昨年4月に新築したばかりの事業所で、就労継続支援B型と生活介護を行っています。まずは施設内を見学。タオルを畳む仕事をしている方や、あいコープのポスティングチラシを2つ折りにしている方、寝ている方、めいめい自分のやりたいことをしながら過ごしていました。その後『みんなの輪』櫻田常務より、みんなの輪の概要やあいコープとの関係について、わ・は・わ広瀬の施設長でもある伊藤常務からはこの施設の日常や大切にしていることなどを話していただきました。

伊藤常務に施設を案内される参加者

一日のスケジュールは9時半～15時半と記載されていますが、実際は7時～19時まで受け入れているそうです。これは「障がい者の親がフルタイムで働くことができるように」との配慮があっての事。職員が障がい者やその保護者の幸せを考えて行動している様に心から感動しました。

試食はパン工房わ・は・わのパンと、わ・は・わ田尻で飼育している豚肉で作ったあいシテルの味わい角煮。参加者からはとてもおいしいと好評を得、これからも買って応援しますと嬉しい言葉をいただきました。これからも組合員とみんなの輪が、社会福祉実現のためにつながっていこうと思いました。

理事　櫻井 洋子

編集後記

福島第一原発事故により発生し、各地で中間管理されている除染土壌の一部を、全国の公共工事等で再利用できるようにする省令の改正案がパブリックコメントにかけられました（環境省、2月14日〆切）。

市民団体主催の公聴会に参加し、作業者や地域住民の安全を真剣に考えているとは思えない内容に愕然。14年が経っても原発事故は終わっていません。

理事　石井 朱里

私のオススメ商品

私がお勧めするのは「あいコープの納豆」です。

あいコープの職員となるまで毎日食べている納豆にこんなに違いがあるとは思っていませんでした。

かき混ぜるとまず、糸の引きが違います。粘りがあり大豆もふんわりとして素材の良さが分かります。タレも化学調味料を使っていない優しい味で、家族6人、毎日美味しく食べています。毎日の食卓にぜひご利用ください。

商品部食肉加工課　菊地　剛

委員さん募集中！

あいコープの仲間と
食のこと
環境のこと
一緒に話しませんか？

お問い合わせ先
☎0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email i-kumikatsu@mamma.coop
(担当：組合員事務局　鈴木・太田代)

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100 円／月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。
個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況　(2025 年 1 月分)

ささえあい(保障)	1 件	(動物被害による商品への補償)
たすけあい(ケア)	2 件	(ケア時間　合計 2. 5 時間)
集団託児	6 件	(利用延べ人数　7 名)
慶弔	11 件	(出産祝い 5 件　お悔やみ 6 件)
電話相談	7 件	(キャンセル除く相談実施件数)
計	20 件	

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ

☎ 0120-50-7277　平日 9:00～17:00

年金相談‥4/8(火)　社会保険労務士 清野道子氏
13：30～15：30

法律相談‥4/8(火)、4/16(水)　弁護士 倉林千枝子氏
13：30～15：30

子ども相談‥4 月より担当相談員が変わります。日程は未定のため、ジョイケアへお問い合わせください。

＊介護相談は相談日のご希望を伺います。

介護相談（ケアプランセンター木もれび 山崎彰子氏）

▼随時受付可能です。各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。▼金曜日が祝日の場合は直前の平日の受付時間まで受付します。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

ちょっとひとこと　●今の野菜は実がなった後、種が取れないのが普通であることなど知りませんでした。選抜で、小さな粒や色が薄いたねも必要な事を聞いて、人間も自然界も多様性が大事なんだと思いました。(たねまきプロジェクト参加者)

あいあいあい
2025年3月号　No.228号
発行/ 生活協同組合あいコープみやぎ 理事会　発行日/ 2025年3月3日
住所/ 〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町3-4-17　TEL/ 022-284-7241　FAX/ 022-284-6973　HP/ https://www.maimma.coop
バックナンバーはHPでご覧になれます。

今日はコレ！ わたしのおすすめ 〈第８回〉

今月の食材

マツダ製麺のギョウザの皮（仙台市若林区）

私のおすすめは、(有)マツダ製麺さんの『ギョウザの皮』です！

マツダ製麺さんといえば、生ラーメン。ですが、生ラーメンコーナーには載っていない…ひっそりと産直肉コーナーに掲載されているギョウザの皮。こちらもマツダ製麺さんの商品なのです。

近頃はグルテンフリーの考え方も広まってきましたが、やっぱり小麦ならではの風味や食感を味わえるギョウザを楽しみたい！しかも、安全に！という、私の欲望にぴったりな商品です。

カリッ♪そして、もっちりと食べ応えのある焼き上がりに、家族全員の箸がとまりません。

味のこだわりはもちろんですが、レベルの高い衛生管理を追求しているのがマツダ製麺さんの魅力の一つ。仙台市の、HACCPの考え方に基づく自主衛生管理を段階的に評価する制度でも高評価を受けているとのこと。

余計な添加物を使わずに、安心の素材で作られたギョウザの皮。アレンジ料理としても幅広く使えるのがポイントです。ぜひ、各ご家庭のオリジナル料理を作ってみてください！

食育コンダクター※　甲田　彩織

※**食育コンダクター**とは…ＮＰＯ法人とうほく食育実践協会が育成・認定する「食の伝道師」。約１年間、養成講座を受講して食の根幹を学んだメンバーが、食育の現場で活躍している。

餃子の皮で♪『ミニチーズブリトー』

①ハムとチーズをギョウザの皮に乗せて包みます。チーズとハムの塩気で、他の調味料はいりません。

②皮をくっつけるときは、お水を使ってね

③トースターでこんがり焼けばできあがり！

ARRANGE

ギョウザの皮を4分の１に切ってもいいし、4枚重ねて大きく作ってもOK。
家族みんなで楽しく、オリジナルの形のブリトーを作ってみてね！

今後の予定

3/21(金) 食と農委員会主催 2024年度農産報告会
産地と共にあゆむ

場所／あいコープみやぎ日の出町センター
時間／10：00～12：00　参加費／無料
定員／30名（託児定員５名）※オンラインあり

3/30(日) 脱原発エネルギーシフト委員会主催
こどもに原発事故を伝える会

場所／あいコープみやぎ日の出町センター
時間／10：00～12：30　参加費／無料
定員／20名　講師／土屋 聡氏

3/23(日) **さようなら原発宮城県民集会**

場所／仙台市 元鍛冶丁公園
時間／14：00 集会　14：30 アピール行進

あいコープみやぎは女川原発の稼働停止と
核燃料の乾式貯蔵施設建設中止を求めます

女川原発の 再・再稼働から
2024年10月29日再稼働し不具合による停止を経て11月13日に再再稼働しています
109日目

2025年3月3日現在